

輪島漆器調査について

安嶋 是晴

調査概要

輪島塗に関する大規模な実態調査は、平成5年度以降全く実施されておらず、その実態が正確に把握されてはいない。そこで今年度、漆器に関する原材料調達から生産工程、販売方法、消費者動向などを一体の流れとして捉え、関係する対象にアンケート調査を行いつつ、業界全体の実態と問題点の総合的な把握を試みた。

アンケート調査について

アンケートのために、事前・事後20回程度の打ち合わせおよびヒアリングを実施した。そこでアンケート項目の調整や役割分担の確認を行った。また調査の実効性を高めるために、輪島市、輪島漆器業協同組合、輪島商工会議所、興能信用金庫など、多くの関係機関への協力を要請し、連携体制を確立した。

調査スケジュール

2014年	6月	事前打ち合わせ開始（役割分担等）
	11月	調査項目作成・調整
2015年	1月	アンケート配布
	2月	アンケート回収
	3月	集計分析
	4月	報告会

アンケート回収状況

	配布件数	回収件数	回収率
塗師屋	177	106	59.9
木地	28	18	64.3
塗り	39	20	51.3
加飾	223	121	54.3
箸	23	9	39.1
その他	9	5	55.6
計	499	279	55.9

アンケート結果（一部）

- ・予想以上に生産額が減少（30億程度の可能性）
- ・統計上の事業所数と現実のミスマッチ（廃業・休業事業者が多く含まれている）
- ・大手漆器店の減少、事業所の規模縮小傾向
- ・海外展開の事業所の出現
- ・新しいネットワークの台頭
- ・職人による直接販売が増加 など

※詳細な集計結果は4月にまとめる予定

以上